

New Year's Day Service



January 1st. 2026
11:00AM ~ (English)
1:00PM ~ (Japanese)

**You are free to enter
the temple until 3:00PM**

**15時までご自由に
参拝していただけます**



Sheppard West駅を降りてすぐ!
TORONTO BUDDHIST CHURCH
A Jodo Shinshu Temple
トロント本願寺（仏教会）

**初詣
元旦法要**



✉ tbc@tbc.on.ca
☎ 416-534-4302 (土休)
日本語での問い合わせは
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



New Year's Eve Ringing Bell

トロント本願寺

除夜の鐘



December 31, 2025
11:30 PM ~

どなた様も1度ずつ鐘をついて
いただけます

Everyone rings the bell
one time each.



Sheppard West駅を降りてすぐ！
TORONTO BUDDHIST CHURCH
A Jodo Shinshu Temple
トロント本願寺（仏教会）



tbc@tbc.on.ca



416-534-4302 (土休)

日本語での問い合わせは
駐在僧侶 橋本・杉浦まで



祥月法要のお知らせ

祥月法要とは、祥月命日（故人が往生された月のご命日）をご縁として仏法に遇い、阿弥陀さまの仏徳を讃嘆し、報謝の思いでお勤めする法要です。

日時 .. 十一月二日（日）

十二月七日（日）

（日本語 .. 午前十時四十五分から）

（英語 .. 午前十一時から）



※英語法要のみオンラインでの配信

オンラインでの参拝を希望される方は、その旨を寺院事務所までお知らせください。

zoom link を送らさせていただきます。

どうぞ故人が祥月でない方もご参拝下さい。

※四月より日本語の時間を変更しました。

法要後には地下のソーシャルホールにてメンバー同士の交流を楽しんでいただければと思います。

永代経法要のお知らせ

本年の永代経法要は、十一月十六日（日）にトロント本願寺にてお勤めいたします。「永代経」とは「永代読経」という意味で、仏さまの教えを私たちに伝えてくださった多くの方々への感謝をあらわす大切なご法要です。ご先祖のみ教えが響き続けていくことを願い、心をこ

めてお勤めいたします。

お寺には「永代経帳」という帳面があり、ご懇志をくださったご家庭や個人のお名前を記録しております。ご家族のお名前が載っているかどうかご確認になりたい方は、どうぞ寺務所までお問い合わせください。

なお本年は、永代経のご懇志をもとに、トロント仏教会八十周年を記念して、内陣用の机を二つ日本より取り寄せる予定です。輸送費が当初の見込みより多くかかるありますが、皆さまのお支えによって実現できることに心より感謝申し上げます。

ご懇志のお申し込みは、本号英語版に同封しております申込用紙をご利用ください。どうぞこのご縁をとおして、阿弥陀さまの大きな慈悲の心にふれ、あらためてお念佛とのご縁を深めてまいりましょう。

橋本顕正

合掌



バザー協力のお願い

年次バザーは、お寺を支える大切な募金行事です。コロナ禍以降ボランティアが減り、規模を縮小してきましたが、今年は少しでも以前のような形に近づけたいと願っています。

サイレントオークションやホワイトエレファントへの品物提供、手作りお菓子（特にパイ！）のご寄付、出店やボランティアなど、さまざまなかたちでお手伝いいただけます。当日の設営・運営・後片付けも人手が必要です。少しだけでもお手伝いいただける方は、ロビーの申込表、またはメール（tbcc@tbc.on.ca 件名「Bazaar Volunteer」）でお知らせください。

また、十一月八日（土）は温かい手作り料理を提供いたします。お持ち帰りも可能です。ぜひお立ち寄りいただき、掘り出し物も見つけてください。



モミジ定例法要の様子

（第2木曜日10時半～）

※時間変更になっています

佛心

二〇一五年十一月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

見返りを求める慈悲の心



このお便りがお手元に届くころ、お寺では毎年恒例のバザーに向けて準備が本格的に進んでいることでしょう。

昨年の秋から冬にかけて研修でトロントを留守にしていたため、私はとつてはこれが初めてのバザーとなります。

少しずつ準備の様子を拝見していると、この行事がどれほど多くの方々のご尽力によって成り立つていてかが伝わってきます。料理、飾りつけ、受付、販売、後片付けなどそれが自分の時間と力をお寺のために差し出してくださる。その積み重ねが、バザーという大きな縁を形づくっています。単なる「イベント」ではなく、お寺を支える多くの温かな行為の集まりなのです。

同時に、このバザーはお寺にとって大切な募金の機会であります。法要や学びの場、子どもたちの活動、そして施設の維持管理に至るまで、皆さまのあたたかいご支援によって支えられていました。バザーの収益は、これからお寺の歩みを支える大切な力となります。

けれども、この行事は特定の人だけで成り立つものではありません。「自分にできる一つひとつに目を向けると、自然に「ありがこと」をそれぞれが見返りを求める慈悲のこと」をそれぞれが見返りを求める慈悲のこと

に一時間だけ手伝う人、バザーを楽しみに来てくださる人など、そのどれもが尊く、欠かすことのできないお力です。

多くの人がそれぞれの形で時間や技術、心を尽くす姿を見ていると、私たちのお寺を支えているのは、個人の力ではなく、見えないところで働く無数のご縁であることに気づかれます。その相互の支え合いのあり方は、まさに阿弥陀仏のたらきそのものを映しています。

阿弥陀さまは決して「お返し」を求められません。どんな「ありがとう」も求めずに、すべてのいのちを抱き、浄土に生まれることを保証してください。ですから、阿弥陀さまの慈悲に応えださいます。阿弥陀さまのよろこばることは義務ではなく、心の奥から自然に湧き上がる感謝のあらわれなのです。

その感謝に応えるとは、阿弥陀さまのよろこばれる生き方をすること。恩に報いようとするのではなく、その限りない慈しみの心に調和して生きること。互いにその心を分かち合い、念佛の道とともに歩むこと。その姿が、バザーという形の中を表れているのだと思います。

阿弥陀さまは決して、この恩に「報いよ」とはおっしゃいません。しかし、この限りない慈悲に遇うとき、自然と感謝の心があふれ出します。バザーはその感謝の心が形となつたものみんなでその喜びを生きる場なのだと思います。合掌

今年のバザーが、ひとりひとりが「ありがとうございます」を思い出すひとときとなり、お寺を支える温かな輪がさらに広がっていく縁となりますように。

もちろん、準備の中には疲れや思いどおりにいかなることもあるでしょう。しかし、ふとまわりを見渡せば、夜遅くまで働く人、裏方で支える人、来場を楽しみにしてくださる方、多くの「見

えない努力」があることに気づきます。その一つひとつに目を向けると、自然に「ありがこと」をそれぞれが見返りを求める慈悲のこと

のではありません。日々の生活の中に、静かに、確かに息づいています。たとえ自分が小さくても、みんなで少しずつ持ち寄る力が小さくても、みんなで少しずつ持ち寄るとき、それは大きな力となつて現れるのです。

トロント本願寺 駐在開教使 橋本 頤正